

リーディングDXスクール事業【実践事例】

足立区立第十四中学校

【取組内容④】「対話的・協働的な校内研究・小中連携」

・スプレッドシートやフォームを活用し、行事のアンケートを集計したり、授業における協議会でJamboardを活用したりしている。

・協議会におけるJamboardの活用。

・研究授業の協議会のJamboardの活用・実践

《取り組み内容》

・足立区授業力改善推進校として行った研究授業の際の協議会でJamboardを活用し、互いの意見を共有しながら議論を行った。

《工夫している点》

- ・事前にJamboardの使い方の研修を行い、使い方を学ぶ機会を設けている。
- ・協議会メンバーの構成について、教科の枠を越えて、教科の専門性における議論ではなく「生徒の主体的な学び」に着目した議論を行うようにしている。

高橋先生

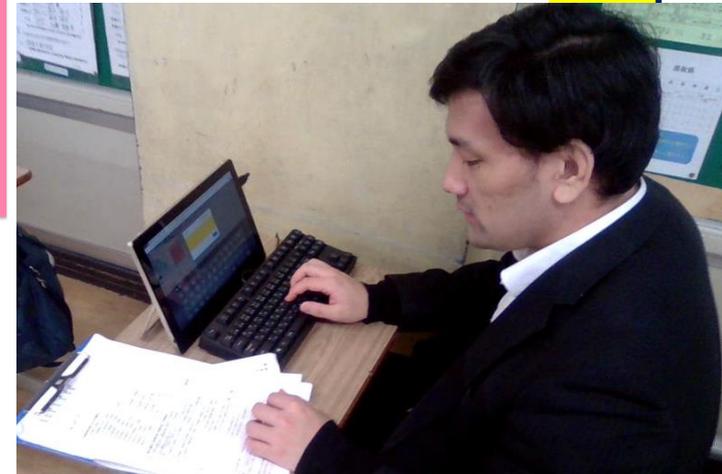
「協働的な学習」が「めあて」の達成につながるものであったか。

4人班を作り、班のメンバーで話し合いながらできていたので、わからない生徒や苦手な生徒のフォローにも繋がっていた。

既存の知識をかしながら、新たな知識を「獲得する」ための手立てとしてとても有効な協働学習だったと思う。

個人では、限られた時間のなかで達成できなかった学びが、お互いに教え合うことでよりスムーズに進められていた

既存の知識を活用しながら、新たな知識を「獲得する」ために有効な協働学習だと感じる。



《取り組みにおける現段階での教師の変容》

- ・付箋を使った協議会に比べ、書くことに時間を割くのではなく、議論に時間をかけることができるようになり、議論が活発化した。
- ★アンケート結果の様子
- ・協議会における主体性や授業改善の意欲が向上したと考える教師の割合の増加